

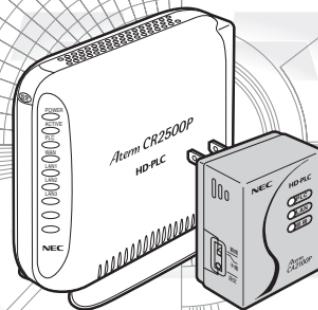
NEC

PLC内蔵ルータ

Aterm[®] CR2500P

取扱説明書

第1版



HD-PLC™

- ・電波法令により本商品の使用は屋内に限定されています。
- ・電力線の使用状態によってはデータ通信に影響があることがあります。

はじめに

この度はAterm CR2500Pをお選びいただきまことにありがとうございます。

Aterm CR2500P（以下、PLC内蔵ルータと呼びます）は、「HD-PLC」規格に準拠したPLC（高速電力線通信：Power Line Communication）用のアダプタ機能を内蔵したブロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例に接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書(本書)

本商品の各機能についての説明書です。



機能詳細ガイド(HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。

AtermStation(<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド]を選択してください。



お知らせ

- 本文中ではAterm CR2500Pを「PLC内蔵ルータ」または「親機」と記載しています。また、Aterm CA2100Pを「PLCアダプタ」または「子機」と記載しています。

■PLCアダプタ（PLC内蔵ルータを含む）に関する注意事項

● 本商品は、アマチュア無線、短波放送、航空無線、海上無線、電波を使用した天文観測などと同じ周波数を使用した高周波利用設備であり、これらの無線設備の近傍で使用した場合、これらの業務の妨害となる可能性があります。もし、継続的かつ重大な妨害の原因が本商品であると確認された場合は、電波法令に基づき妨害を除去する必要な措置[※]をとることを総務大臣から命じられことがあります。

※PLCアダプタの停止措置が必要になった場合は、すべてのPLCアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

その後巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品は、PLC-J（高速電力線通信推進協議会）ガイドラインに準拠しています。
- 電波法令により本商品の使用は屋内に限定されています。また、電力線の使用状態によってはデータ通信に影響があることがあります。
- PLC（高速電力線通信：Power Line Communication）は電力を供給している電力線を利用してデータ通信を行います。既存の電源コンセントがアクセスポイントになりますが、電力線の使用状態によっては、使用できない電源コンセントもあります。
- データ通信にはAES 128bit暗号化方式を採用しています。ただし、第三者による傍受に対してセキュリティを保証するものではありません。
- 「HD-PLC」規格の商品であれば、他社製の商品でも登録して使用することができます。
- 「HD-PLC」規格の商品には下記の表示がされています。



他社製の商品ではPLCアダプタの名称が、本書と異なっている場合があります。

(例：親機＝マスター・アダプター、子機＝ターミナル・アダプター)

他社製の商品をお使いの場合は、他社製商品の取扱説明書をよくお読みのうえ、本商品に登録・または本商品を登録してください。

Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。

Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ BusinessおよびWindows Vista™ Ultimateの各日本語版かつ32ビット(x86)版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable口のついたパソコン、またはメーカーがWindows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape®は、米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。

Firefox®は、米国Mozilla Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Safariは、Apple Computer, Inc.の商標です。

Operaは、Opera Software ASAの商標または登録商標です。

プレイステーションおよびPSPは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

JavaScript®は、米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。

「HD-PLC」とは松下電器が提唱する高速電力線通信方式の名称です。

「HD-PLC」は商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007, © NEC AccessTechnica, Ltd. 2007

日本電気株式会社およびNECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 **警 告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注 意** :人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **お願 い** :本商品の本来の性能を發揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警 告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の電源プラグは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると電源タップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- 電源コード（電源プラグ）にものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

⚠ 警 告

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、巻末のお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて巻末のお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、巻末のお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、巻末のお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警 告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメークを装着されている方は、本商品をペースメーク装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 次のような使い方はしないでください。
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 本商品を横置きしないでください。横置きすると筐体の表面温度が高くなり、長時間一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、巻末のお問い合わせ先にご連絡ください。

⚠ 注意

電源

- 本商品の電源プラグは電源コンセントに根元まで確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグと電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の電源プラグを電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 電気製品の電気ノイズが電力線を通るとPLCアダプタの性能、通信速度に影響を与えることがあります。
電気ノイズが発生しやすい電気製品にはノイズフィルターを付けることをお勧めします。
電気ノイズが発生しやすい電気製品は、例えば次のようなものです。
 - ・充電器（携帯電話の充電器を含む）
 - ・ヘアードライヤー
 - ・掃除機
 - ・電気ドリル
 - ・調光機能付き照明器具やタッチランプなど
- 子機を接続する電源コンセントと親機を接続する電源コンセントが非常に離れたところにある場合、双方のデータ通信ができないことがあります。
子機を使用する場所に置き、電源プラグを電源コンセントに差し込んだあと、通信速度の確認を行ってください。
(☞P24)



PLCアダプタ（PLC内蔵ルータを含む）の設置場所に関する注意事項

- 本商品は屋内専用です。本商品の屋外での使用は法律により禁止されています。
- 本商品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 停電、電力線上のノイズなどの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- PLCアダプタが影響を与える電気製品について
PLCアダプタは次の電気製品の電気ノイズ源となる場合があります。

- ・短波ラジオ
- ・調光機能付き照明器具やタッチランプなど
- ・「HD-PLC」規格を使用していないPLC製品
- ・無線を利用した遠隔操縦機器
- ・ワイヤレスマウス

PLCアダプタにより影響を受けていると思われる場合は、

- ・PLCアダプタの電源コンセントを別の電源コンセントに差し替える

短波ラジオの場合は、

- ・使用場所を壁から遠ざける
- ・短波ラジオの周波数を変更して受信する
- ・本書のトラブルシューティングを参照する
- などの対処を行ってください

- PLCアダプタは、既存の電力線（屋内電気配線）を利用してデータ通信を行います。電気ノイズや電力線の長さ、ブレーカーの仕様の影響を受けることがあります。また、近傍に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信速度の低下、または、通信できない場合があります。

- 電源コンセントについて

- ・より性能よくお使いいただくために、PLCアダプタの電源プラグは、壁の電源コンセントに直接差し込むことをお勧めします。
- ・PLCアダプタの性能に影響ができる恐れがあるので、PLCアダプタをバックアップ電源装置（無停電電源装置（UPS）など）に接続しないでください。
- ・PLCアダプタを電源タップに接続するときは次の点にご注意ください。
 - ・雷サージ対応の電源タップは使用しないでください。（雷サージ対応の電源タップはPLCアダプタの性能に影響を与えることがあります。）
 - ・電源タップは、壁の電源コンセントに直接接続してください。
 - ・電源タップの電源コードは、できるだけ短いものをお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

PLCアダプタ（PLC内蔵ルータを含む）ご使用におけるセキュリティに関するご注意

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、PLCの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 第三者のネットワークへの侵入を防ぐために、本製品が提供しているセキュリティ対策は以下のとおりです。
 - ・ 親機に登録されている子機のみPLCネットワークに接続できます。
 - ・ 親機の設定ボタンを押して5秒以内に設定ボタンを押した近距離にある1台の子機のみ親機に登録されます。
- データはAES128bit暗号で保護されています。ただし、第三者による傍受に対して、セキュリティを保証するものではありません。
- セキュリティ対策のため、次のような場合は、PLCアダプタを初期化してください。(☞P31、32)
 - ・ 親機に、別人の子機（例えば、同じアパート住人の子機）が登録されている恐れがある場合は、すべてのPLCアダプタを初期化して、登録し直してください。
 - ・ PLCアダプタを紛失したときは、すべてのPLCアダプタを初期化して、登録し直してください。(☞P27)

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	4
目次	13
「機能詳細ガイド」目次	14
本商品でできること	15
各部の名称とはたらき	19
PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する	22
PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する	22
通信速度を確認する	24
ネットワーク機器を接続する	25
接続する電源コンセントについての注意事項	26
PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）の登録をする	27
本商品を初期化する	29
PLC内蔵ルータ（親機）を初期化する	29
PLCアダプタ（子機）を初期化する	32
あらかじめ確認する	33
WWWブラウザの設定確認	33
JavaScript® の設定を確認する	35
パソコンを使って設定画面を見る	41
設定画面について	41
PLC内蔵ルータ（親機）を設定する	44
ポップアップヘルプについて	45
PLCアダプタ（子機）を設定する	59
PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能のファームウェアをバージョンアップする	64
トラブルシューティング	68
PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能に関するトラブル	68
PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能およびPLCアダプタ（子機）に関するトラブル	77
ご利用開始後のトラブル（PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能）	79
製品仕様	81
索引	84

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「**②機能詳細ガイド**」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] – [機能詳細ガイド] を選択してください。

<PLC内蔵ルータ (CR2500P) を親機としてお使いの方>

〈機能一覧〉

■PLC機能■

PLC

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能	アドバンスドNAT (IP マスカレード/NAPT)
ポートマッピング (アドバンスドNATオプション)	静的ルーティング
DNSルーティング	IP パケットフィルタリング
ダイナミックポートコントロール機能	DHCP サーバ機能
DNS フォワーディング	不正アクセス検出機能
悪質サイトブロック機能	通信情報ログ (アクセスログ機能)
UPnP機能	DMZホスティング機能

■WAN側機能■

PPPoEブリッジ	IPv6ブリッジ
PPPoEマルチセッション	VPN/パススルー機能
PPPキープアライブ	

■パソコンインターフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチングHUB (3 ポート)

■その他の機能■

管理者パスワードの変更	時刻設定
通信確認（疎通確認テスト）	情報表示（装置情報、状態表示）
ファームウェアの更新	

<クイック設定Webの使い方 親機 (CR2500P)>

ルータ機能の設定 PLC機能の設定

<クイック設定Webの使い方 子機 (CA2100P)>

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する ネットワーク対応アプリケーション
ファイルとプリンタの共有

〈お困りのときには〉

<PLCアダプタ (CA2100P) を親機としてお使いの方>

<PLCアダプタ (CA2100P) を子機としてお使いの方>

〈クイック設定Webの使い方（親機CA2100P）〉

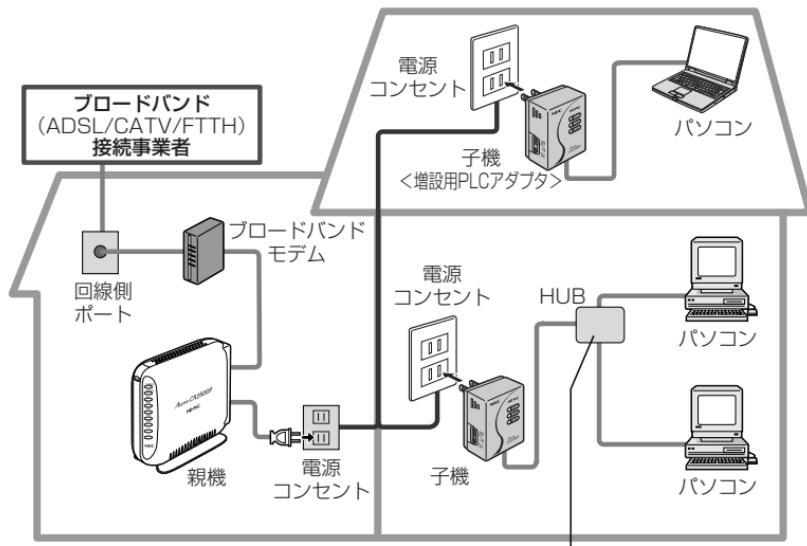
〈クイック設定Webの使い方（子機CA2100P）〉

〈お困りのときには〉

本商品でできること

本商品は既存の電力線（屋内電気配線）を利用してデータ通信を行うPLC（Power Line Communication）アダプタ機能を内蔵したブロードバンドルーターです。

PLCを利用したPLCネットワークは、親機と子機で構成されています。親機にはブロードバンドモデルをつなぎ、子機にはパソコンなどのネットワーク機器をつなぎます。それぞれの電源プラグを電源コンセントに差し込むだけでETHERNETケーブルの配線が困難な場所や、部屋の壁のような障害物のため無線通信ができないところでもデータ通信ができるようになります。



子機にHUBを接続するとネットワーク機器を8台まで接続できます。

子機は15台以下（本商品に付属の子機1台を含む）でのご使用をお勧めします。

子機を増設する場合は、まず子機登録してください。（☞「つなぎかたガイド」）

■セキュリティ対策をする

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（[②機能詳細ガイド](#)）

- ・IPパケットフィルタリング
- ・アドバンスドNAT（IPマスクレード／NAPT）
- ・不正アクセス検出機能
- ・ダイナミックポートコントロール機能
- ・インターネット悪質サイトブロック

■ゲーム機を接続する

“PlayStation® 2” および “PlayStation® 3” などネットワークゲーム機を接続することができます。

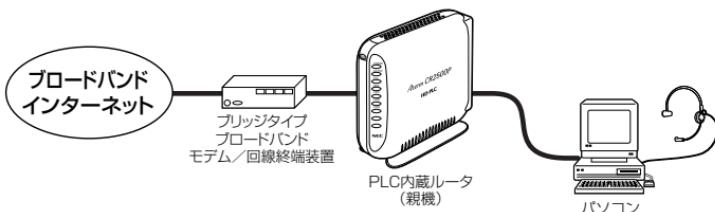
使用するゲーム機やゲームソフトがPPPoEでの通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能（[②機能詳細ガイド](#)）で接続できます。（※使用する回線がPPPoE接続方式の場合のみ）

■パソコンのネットワークゲームやTV電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。（[②機能詳細ガイド](#)）

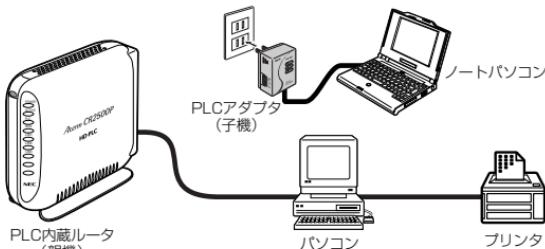
- ・ポートマッピングの設定
- ・PPPoEブリッジ機能

また、UPnP機能を使用してWindows® XPの “Windows Messenger” サービスなどでTV電話などの機能をご利用になれます。（[②機能詳細ガイド](#)）



■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(機能詳細ガイド)



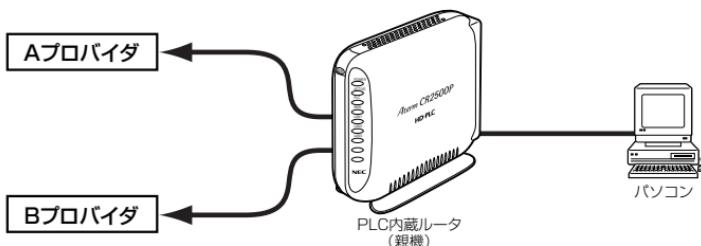
*本商品の機能ではありません。Windows®の 共有機能の設定になります。

■ インターネットの通信を切断する

- ・ クイック設定Webの【情報】 - 【現在の状態】で切断できます。(自動で再接続を行います。) (機能詳細ガイド)

■ 複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定Webで複数の接続先を登録できます。



● PPPoEマルチセッション (機能詳細ガイド)

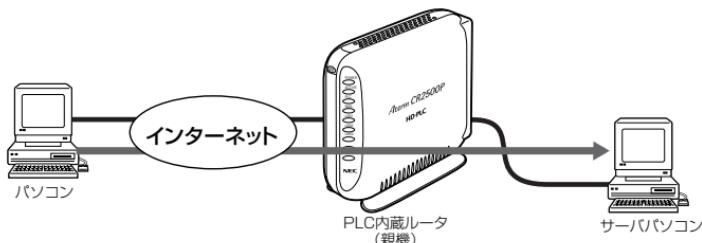
1つの回線契約で複数（最大5セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。

同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■ SOHOで使用するときに便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
([⑤機能詳細ガイド](#))
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）、DMZホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。



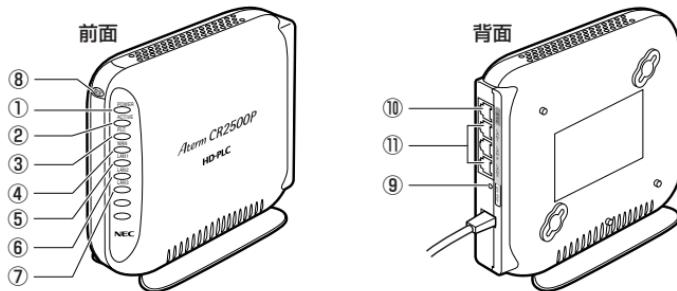
- 会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) ([⑤機能詳細ガイド](#))
VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) にPPTP/IPsecで接続できます。

■ 知っておくと便利な機能

- バージョンアップする ([⑤機能詳細ガイド](#))
ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する ([⑤機能詳細ガイド](#))
クリック設定Webで、現在の設定内容を保存できます。
※Aterm CR2500PのみPLC内蔵ルータ（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルからPLC内蔵ルータ（親機）に設定内容を復元することができます。
- 初期化する ([☞P29](#))
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

各部の名称とはたらき

■親機（Aterm CR2500P）



【ランプ表示】

ランプの表示	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
①POWER (電源)	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	内蔵ルータのファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき
	消灯	電源が入っていないとき
②ACTIVE (通信状態)	緑（点灯）	PPPoEルータモードでPPPリンクが確立しているとき、またはローカルルータモードでWAN側にIPアドレスが設定されているとき
	緑（速い点滅）	動作モードがPPPoEモードの場合に相手からの応答を確認しているとき
	緑（遅い点滅）	動作モードがPPPoEモードの場合にPPP認証を再確認しているとき（1秒間隔）
	消灯	PPPoE接続でPPPリンクが確立していない、またはWAN側にIPアドレスが設定されていないとき
③PLC (PLC通信状態)	緑（点灯）	PLCネットワークに接続しているとき（通信可能状態）
	緑（点滅）	PLC内蔵ルータ（親機）にPLCアダプタ（子機）を登録しているとき（0.5秒OFF/0.5秒ON）
	緑（5秒ごとに点滅）	登録済みPLCアダプタ（子機）がPLCネットワーク上に見つからないとき（通信相手検索中状態）（4.5秒OFF/0.5秒ON）
	赤（点灯）	PLC内蔵ルータ（親機）が故障しているとき（☞P77）
	赤（5秒間点灯）	PLC親子登録に失敗したとき
	消灯	PLCアダプタ（子機）が未登録のとき

各部の名称とはたらき

ランプの表示	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
④WAN	緑（点灯）	WANポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WANポートのリンクが確立していないとき
⑤LAN1	緑（点灯）	LANポート1 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LANポート1 がデータ送受信しているとき
	消灯	LANポート1 のリンクが確立していないとき
⑥LAN2	緑（点灯）	LANポート2 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LANポート2 がデータ送受信しているとき
	消灯	LANポート2 のリンクが確立していないとき
⑦LAN3	緑（点灯）	LANポート3 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LANポート3 がデータ送受信しているとき
	消灯	LANポート3 のリンクが確立していないとき

【前面のボタン】

名 称	説 明
⑧設定ボタン	らくらくプラグスタートを起動します。(10秒以内に離した場合) PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を工場出荷状態に初期化します。 (10秒以上押し続けた場合)

【背面のボタン】

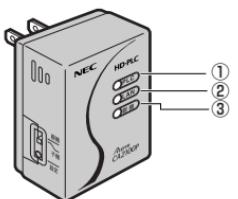
名 称	説 明
⑨RESETボタン	PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能を工場出荷状態に初期化します。

【背面のインターフェースポート】

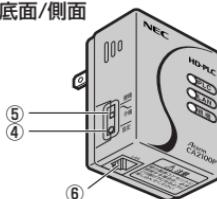
名 称	説 明
⑩プロードバンド接続ポート (WANインターフェース)	プロードバンドモ뎀／回線終端装置との接続に使用します。
⑪ETHERNETポート (LANインターフェース)	パソコンまたはHUBなどと接続します。

■子機 (Aterm CA2100P)

前面



底面/側面



【ランプ表示】

ランプの表示	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
①PLC	緑(点灯)	PLCネットワークに接続しているとき(通信可能状態)
	緑(点滅)	PLCアダプタ(子機)にPLC内蔵ルータ(親機)を登録しているとき(0.5秒OFF/0.5秒ON)
	緑(5秒ごとに点滅)	登録済みPLC内蔵ルータ(親機)がPLCネットワーク上に見つからないとき(通信相手検索中状態)(4.5秒OFF/0.5秒ON)
	赤(点灯)	PLCアダプタ(子機)が故障しているとき(P77)
	赤(5秒間点灯)	PLC親機登録に失敗したとき
	消灯	PLC内蔵ルータ(親機)が未登録のとき
②LAN	緑(点灯)	LANポートのリンクが確立しているとき
	緑(点滅)	LANポートがデータ送受信しているとき
	橙(点灯)	LANポートのリンクが確立していないとき
③親機	緑(点灯)	PLCアダプタが親機に設定されているとき
	緑(10秒間点滅)	PLC親機登録に成功したとき(PLCアダプタが親機に設定されているとき)(0.5秒OFF/0.5秒ON)
	消灯	PLCアダプタが子機に設定されているとき

【側面のボタン・スイッチ】

名 称	説 明	
④設定ボタン	親子設定未登録時	らくらくプラグスタートを起動します。(10秒以内に離した場合)
	親子設定登録時	PLC通信速度を測定します。(子機の場合のみ)
	PLCアダプタを工場出荷状態に初期化します。(10秒以上押し続けた場合)	
⑤親機／子機モード 切替スイッチ	「親機／子機」の設定ができます。2台のPLCアダプタのうち、1台を親機として使用する場合にスイッチを「親機」側にします。 親機としてPLC内蔵ルータを使用する場合は、スイッチを「子機」側にします。	

【底面のインターフェース】

名 称	説 明	
⑥ETHERNETポート (LANインターフェース)	親機として設定した場合	ブロードバンドルータなどネットワーク機器と接続します。
	子機として設定した場合	パソコンまたはHUBなどと接続します。

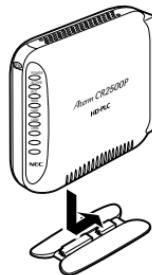
PLC内蔵ルータ（親機）および PLCアダプタ（子機）を設置する

PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する

PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する前に、「安全にお使いいただくために必ずお読みください【設置場所】」(☞P9、10)をお読みください。

1

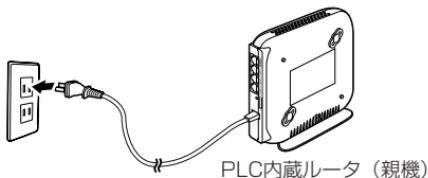
PLC内蔵ルータ（親機）にスタンドを取り付ける



2

PLC内蔵ルータ（親機）を使用する場所に置き、電源プラグを電源コンセントに差し込む

- 電源コンセントは、使用する場所にできるだけ近い電源コンセントをお使いください。
※電源コンセントについては、「接続する電源コンセントについての注意事項」(☞P26)を参照してください。



お知らせ

- PLC内蔵ルータ（親機）に未登録のPLCアダプタ（子機）は使用できません。
増設用PLCアダプタを使用する場合は、親機に登録後(☞P27)、設置してください。

3

PLCアダプタ（子機）の電源プラグを電源コンセントに差し込む

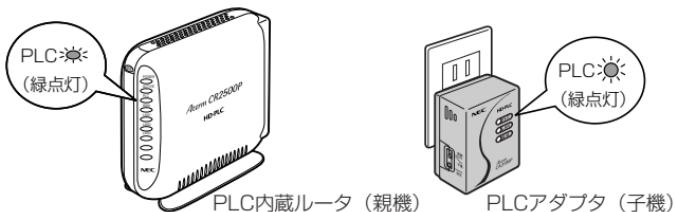
※電源コンセントについては、「接続する電源コンセントについての注意事項」(☞P26)を参照してください。

※PLCアダプタを壁の電源コンセントに接続する場合は、必ずETHERNETポートが下になるように差し込んでください。



4

PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）のPLCランプが緑点灯していることを確認する



お知らせ

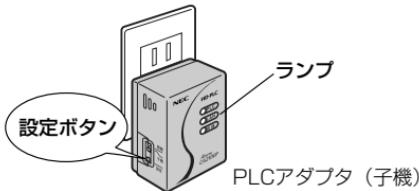
- PLCランプが緑点灯していないときは、PLCネットワークに接続されていません。「トラブルシューティング」の「PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能およびPLCアダプタ（子機）に関するトラブル」(☞P77) を参照してください。

PLCアダプタ（子機）を設置後、通信速度を確認してください。(☞P24)

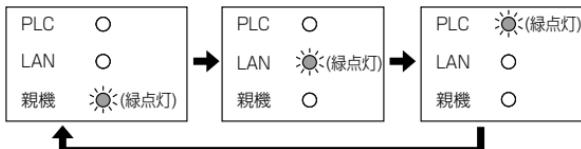
通信速度を確認する

通信速度が遅い場合は、快適なデータ通信ができません。PLCアダプタ（子機）を使用したい場所に設置して（☞P22）使用する前に、登録しているPLCアダプタ（子機）とPLC内蔵ルータ（親機）間の通信速度を確認してください。

PLCアダプタ（子機）の設定ボタンを約1秒間押して離す



●通信速度測定中は、PLCアダプタ（子機）のランプが以下の順番で点灯します。



●測定終了後、通信速度の測定結果をランプの点灯（約5秒間）でお知らせします。

ランプ	PLC ○	PLC ○	PLC ○	PLC ○
LAN	○	○	○	○
親機	○	○	○	○
通信速度*	遅い	-----	-----	→ 速い
	10 Mbps以下	10 Mbps~30 Mbps	30 Mbps以上	

*通信速度は、UDPプロトコルを使ってデータ転送したときのおおよその速度です。
通信速度が遅いときは、PLCアダプタ（子機）を別の電源コンセントに差し込む、または設置場所を変更してください。

お知らせ

- 測定結果は設定ボタンを押したPLCアダプタ（子機）からPLC内蔵ルータ（親機）へデータ通信を行った結果の通信速度です。
- PLCアダプタ（子機）は、通信速度測定で、少なくとも1つのランプが点灯する場所に設置してください。
- 設置場所を変更しても通信速度が改善されない場合は、「トラブルシューティング」の「PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能およびPLCアダプタ（子機）に関するトラブル」（☞P77）を参照してください。
- 通信速度は、環境の変化により変わることがあります。
- PLCランプが緑点灯した状態でないと測定できません。
- 通信速度を確認後、ネットワーク機器をPLCアダプタ（子機）に接続してください。

ネットワーク機器を接続する

PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置して、通信速度を確認後（☞P24）、ネットワーク機器を接続してください。

1

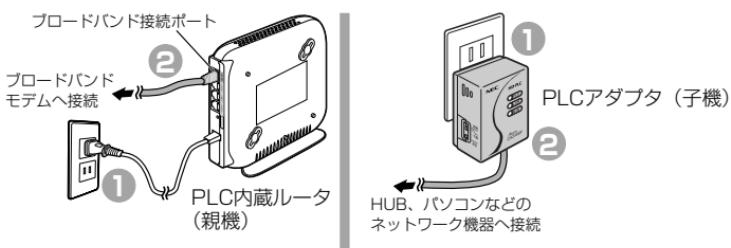
電源プラグの接続を確認する（①）

- PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）の電源プラグが電源コンセントに接続されていることを確認してください。

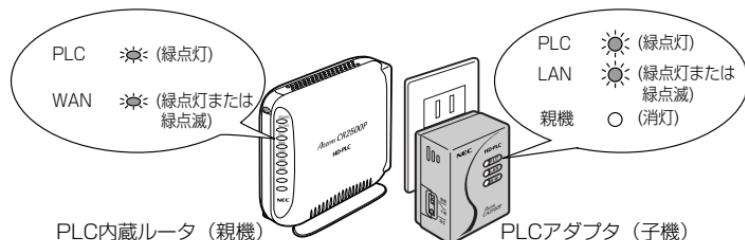
2

ETHERNETケーブルで、PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）とネットワーク機器を接続する（②）

- PLC内蔵ルータ（親機）には、ブロードバンドモデム、回線終端装置などのネットワーク機器を接続する
- PLCアダプタ（子機）には、パソコン、HUBなどのネットワーク機器を接続する



- PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）とネットワーク機器の接続が完了すると、ランプは以下のように点灯します。点灯または点滅していない場合は、「トラブルシューティング」の「PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能およびPLCアダプタ（子機）に関するトラブル」（☞P77）を参照してください。



お知らせ

- 使用するネットワーク機器の電源が入っていない場合は、PLCアダプタ（子機）のLANランプは橙点灯します。
- 同じルータまたはHUBに複数のPLCアダプタ（子機）を接続しないでください。PLCネットワークの通信速度が極端に遅くなることがあります。
- PLCアダプタとPLCアダプタに接続した他のネットワーク機器のIPアドレスが競合したと思われるときは、PLCアダプタのIPアドレスを変更してください。（☞P55、61）
- PLCネットワークの構成例は15ページを参照してください。
- PLCアダプタ（子機）を増設するときは、27ページを参照してください。

PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する

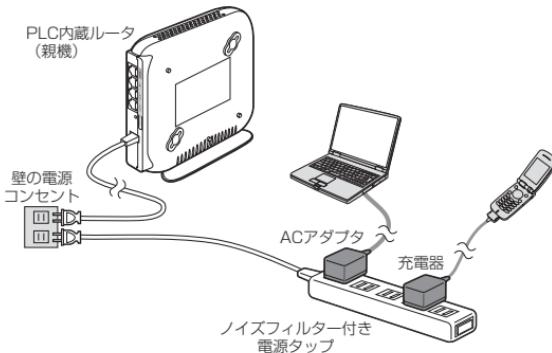
「つなぎたガイド」を参照してインターネット接続のための設定を行い、ネットワーク機器で通信ができることを確認してください。データ通信中は、PLC内蔵ルータ（親機）の場合はWANランプ、PLCアダプタ（子機）の場合はLANランプが緑点滅します。



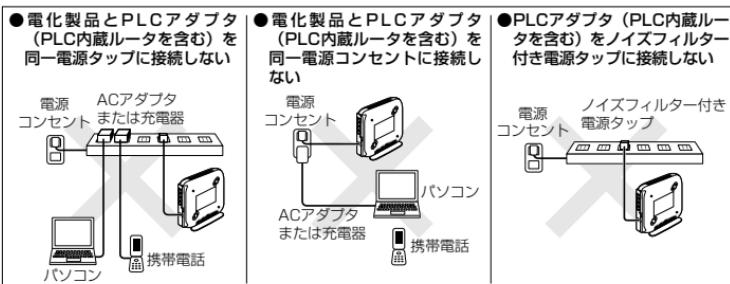
ランプが点灯していない場合やネットワーク機器で通信ができない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。(☞P68)

接続する電源コンセントについての注意事項

- 本商品の電源プラグは、壁の電源コンセントに直接差し込むことをお勧めします。
- ACアダプタや充電器（携帯電話の充電器）、およびバックアップ電源装置（無停電電源装置（UPS）など）は、本商品の性能に影響を与えることがあります。
ACアダプタや充電器など電気ノイズを発生する電気製品については、ノイズフィルター付きの電源タップに接続することをお勧めします。



- 本商品を電源タップに接続するときは以下の点にご注意ください。
 - ・雷サージ対応の電源タップは使用しないでください。
(雷サージ対応の電源タップは本商品の性能に影響を与えることがあります。)
 - ・電源タップは壁の電源コンセントに直接接続してください。
 - ・電源タップの電源コードはできるだけ短いものをお使いください。
- 以下の接続は本商品の性能に影響を与えることがありますので、接続しないでください。



PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）の登録をする



お知らせ

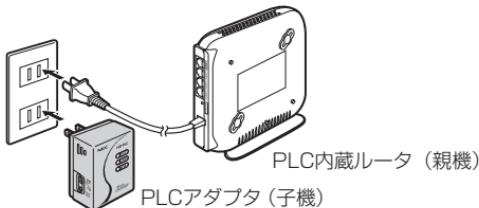
- PLCルータセットではすでに登録されていますので、この作業は不要です。
- 本商品は電源が入った状態で設定ボタンを10秒以上押し続けると初期化されますので、本商品を移動する場合などにはご注意ください。
- 周辺の物で本商品の設定ボタンが押されないよう、設置環境にはご注意ください。

1

それぞれの電源プラグを同じ電源コンセントに差し込む

※PLC内蔵ルータ（親機）、PLCアダプタ（子機）を別の電源コンセントに差し込むと、
登録できない場合があります。

※電源プラグは、壁の電源コンセントに直接差し込んでください。

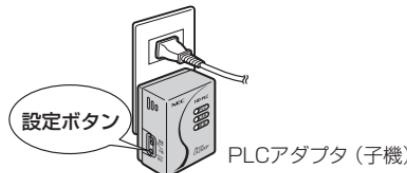


2

PLCアダプタ（子機）側面の設定ボタンをPLCランプ、LANランプ、 親機ランプが同時に点滅するまで長押し（約10秒）して初期化する

必ず、親機／子機モード切替スイッチが子機側になっていることを確認して、設定ボタンを押してください。

※PLC内蔵ルータ（親機）は初期化しないでください。

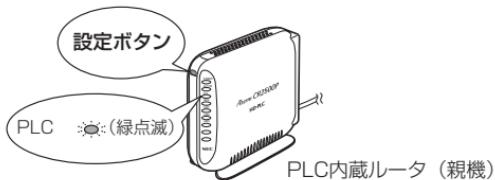


PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を設置する

3

PLC内蔵ルータ（親機）の設定ボタンをPLCランプが緑点滅するまで長押しする

PLC内蔵ルータ（親機）のPLCランプが緑点滅したら、設定ボタンを離してください。



4

5秒以内にPLCアダプタ（子機）の設定ボタンをPLCランプが緑点滅するまで長押しする

- PLCアダプタ（子機）のPLCランプが緑点滅したら、設定ボタンを離してください。
- PLCランプが緑点灯したら、登録完了です。
- 登録中はPLCネットワークが最大10秒間遮断されることがあるため、PLCアダプタに接続しているネットワーク機器は通信ができなくなることがあります。

※登録後、約30秒間は電源プラグを抜かないでください。登録が終了していないことがあります。



5

登録後、電源プラグを電源コンセントから抜き、PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）を使用したい場所に設置する

本商品を初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続しなおす場合は、本商品を初期化して初めから設定をしなおすことをお勧めします。

ルータ機能とPLC機能はそれぞれ別々に初期化されます

- ・ルータ機能を初期化しても、PLC機能で設定した値はそのまま保持されます。
- ・PLC機能を初期化しても、ルータ機能で設定した値はそのまま保持されます。

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした本商品のファームウェアはそのままです。

以下のような場合は本商品を初期化してください。

- PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続しなおす場合
→PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能を初期化してください。（☞下記）
- PLC内蔵ルータ（親機）に、自分が所有する以外のPLCアダプタ（子機）が登録されている場合
→PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能と登録しているPLCアダプタ（子機）をすべて初期化してください。（☞P31、32）
- PLCアダプタ（子機）を登録するとき
→登録するPLCアダプタ（子機）を初期化してください。（☞P32）

PLC内蔵ルータ（親機）を初期化する

<PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能を初期化する>

PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能の初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する（☞下記）

RESETボタンで初期化する（☞P30）

■ クイック設定Webで初期化する

1 パソコンを起動する

1

2

WWWブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クイック設定Webのページを開く

- PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は192.168.0.1です。）

例：<http://192.168.0.1/>

3

ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

- 管理者パスワードは「PLC内蔵ルータ（親機）を設定する」（☞P44）を参照してください。

- ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4

「メンテナンス」の「設定値の初期化」を選択する

(次ページに続く)

本商品を初期化する

5 [設定値の初期化] をクリックする



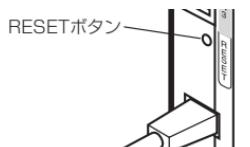
6 [OK] をクリックする ●PLC内蔵ルータ（親機）が再起動します。

■RESETボタンで初期化する

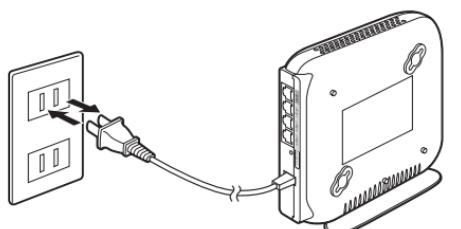
1 PLC内蔵ルータ（親機）の電源が入っていることを確認する

2 PLC内蔵ルータ（親機）の背面にあるRESETボタンを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

●POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。



3 PLC内蔵ルータ（親機）の電源プラグを電源コンセントからいったん抜いたあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む



PLC内蔵ルータ（親機）



お知らせ

●PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能を初期化しても、PLC機能は初期化されません。PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能の初期化は31ページを参照してください。

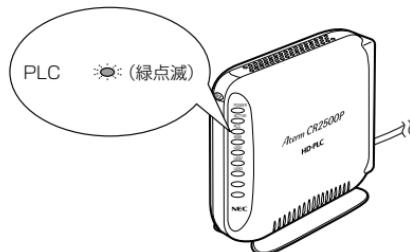
<PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を初期化する>

1 PLC内蔵ルータ（親機）の電源が入っていることを確認する

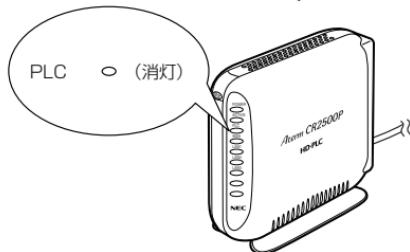
2 PLC内蔵ルータ（親機）の設定ボタンを長押しする

3 PLCランプが緑点滅し、約10秒後に消灯することを確認する

●PLC内蔵ルータ（親機）のPLCランプが消灯するとPLC機能の初期化は終了です。



PLC内蔵ルータ（親機）



PLC内蔵ルータ（親機）

4 設定ボタンを離す



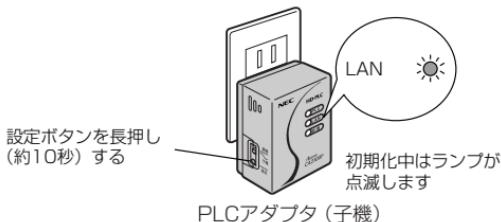
お知らせ

●PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を初期化しても、ルータ機能は初期化されません。PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能の初期化は29ページを参照してください。

本商品を初期化する

PLCアダプタ（子機）を初期化する

- 1 PLCアダプタ（子機）の設定ボタンをPLCランプ、LANランプ、親機ランプが同時に点滅するまで長押し（約10秒）する
- 2 PLCアダプタ（子機）のPLCランプ、LANランプ、親機ランプが同時に点滅したら離す
●PLCアダプタ（子機）のLANランプが点灯するとPLCアダプタ（子機）の初期化は終了です。



お知らせ

- PLCアダプタ（子機）を初期化すると、PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能への登録情報が消去されます。使用するときは、PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能に登録し直してください。（☞P27）
- PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を初期化したときは、登録しているすべてのPLCアダプタ（子機）を登録し直してください。（☞P27）



お願い

- 初期化後、30秒間は電源プラグを抜かないでください。内部情報の初期化が終了していないことがあります。

あらかじめ確認する

PLC内蔵ルータ（親機）やPLCアダプタ（子機）を設定するためのパソコンの設定を確認します。

WWWブラウザの設定確認

WWWブラウザ（Internet Explorerなど）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下はWindows Vista™でInternet Explorer 7.0および、Windows® XP/2000 ProfessionalでInternet Explorer 6.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

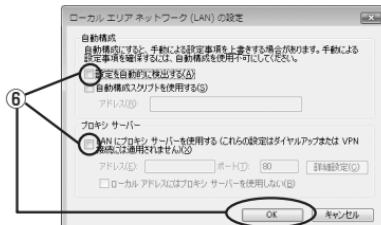
● Windows Vista™でInternet Explorer 7.0の場合

- ① Internet Explorerを起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
グレーアウトしている場合は⑤へ進みます。



- ⑤ [LANの設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する] と [LANにプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。

あらかじめ確認する

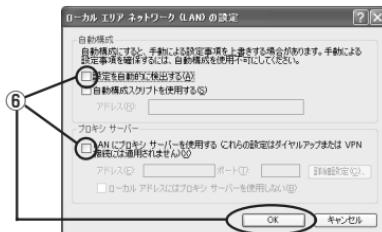
●Windows® XP/2000 ProfessionalでInternet Explorer 6.0の場合

- ① Internet Explorerを起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
グレーアウトしている場合は⑤へ進みます。



- ⑤ [LANの設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する] と [LANにプロキシサーバーを使用する] の□を外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用のCD-ROMやパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品にLAN接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript®の設定を確認する

WWWブラウザ（クリック設定Web）で設定を行うにはJavaScript®の設定を有効にする必要があります。

※ WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScript®を「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows Vista™でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。なお、Windows® XP/2000 Professionalで設定する場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] (Windows® XPの場合は[クラシック表示に切り替える]) – [インターネットオプション] をダブルクリックする

※Windows® 2000の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す

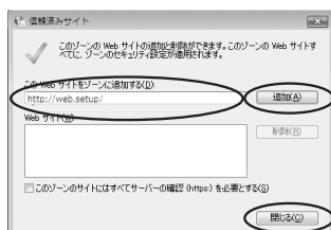


5 [次のWebサイトをゾーンに追加する] に「http://web.setup/」を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] (Internet Explorer 6.0の場合は [OK]) をクリックする

※IPアドレス (工場出荷時は192.168.0.1)

を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。

(例：「192.168.0.1」)



(次ページに続く)

あらかじめ確認する

6

[レベルのカスタマイズ] をクリックする

7

画面をスクロールし、[アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



8

[OK] をクリックする

Windows® でNetscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XPでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professionalで設定する場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1

Netscape® を起動する

2

メニューバーの [編集] – [設定] をクリックする

3

[カテゴリ] の中から [詳細] – [スクリプトとプラグイン] をクリックする

4

[JavaScriptを有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる

5

[OK] をクリックする

Windows® でFirefox® をご利用の場合

以下は、Windows® XP でFirefox® 1.5を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professionalで設定する場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1 Firefox® を起動する

2 メニューバーの【ツール】 – 【オプション】をクリックする

3 【コンテンツ】をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする]にチェックを入れる

5 【OK】をクリックする



Mac OS XでSafariをご利用の場合

以下は、Mac OS XでSafari2.0を使用している場合の例です。

1 Safariを起動する

2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする] に
チェックを入れる



5 メニューバーの [Safari] から [Safari終了] をクリックし、Safariを終了させる

Mac OS XでNetscape® をご利用の場合

以下は、Mac OS XでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの [Netscape] - [環境設定] をクリックする

3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



5 [OK] をクリックする

6 メニューバーの[Netscape]から[Netscape終了]をクリックし、
Netscape® を終了させる

※Netscape®を一度終了させないと、設定は反映されません。

Mac OS XでFirefox®をご利用の場合

以下は、Mac OS XでFirefox® 1.5を使用している場合の例です。

1 Firefox® を起動する

2 メニューバーの [Firefox] - [環境設定] をクリックする

3 [コンテンツ] をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする] にチェックする



5 メニューバーの [Firefox] から [Firefox終了] をクリックし、Firefox® を終了させる

パソコンを使って設定画面を見る

設定画面について

本商品の設定画面をパソコンで見ることができます。

PLC内蔵ルータ（親機）は、ルータ機能とPLC機能をもっており、それぞれ別の設定画面で設定します。

また、PLCアダプタ（子機）もPLC機能の設定画面で設定します。

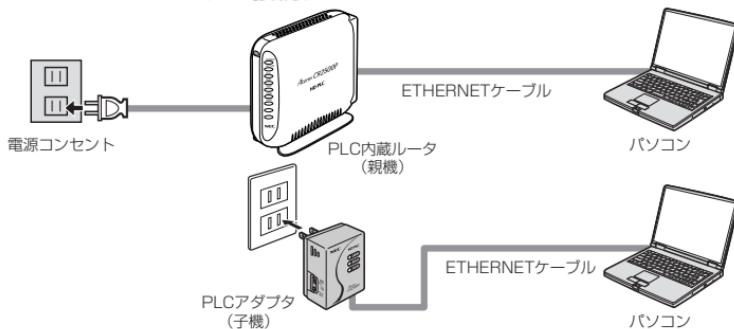
42ページを参照して、それぞれの設定画面に進む前に、パソコンのIPアドレスを設定してください。

- PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能の設定画面を開きたいときは、PLC内蔵ルータ（親機）に直接パソコンを接続してください。
- PLCアダプタ（子機）の設定画面を開きたいときは、PLCアダプタ（子機）に直接パソコンを接続してください。
- PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能の設定画面は、PLCランプが点灯していれば、親機／子機どちらからも開くことができます。

■設定画面を見るための準備

本商品の設定画面を見るために、パソコンのネットワークを設定します。

- 1 PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）とパソコンをETHERNETケーブルで接続する



- 2

パソコンのIPアドレス設定画面を表示する

- 表示方法は、43ページを参照してください。

<PLC内蔵ルータ(親機)のルータ機能の設定画面を見る場合>

「パソコンのIPアドレス設定画面を表示する」(☞P43) を参照して、「IPアドレスを自動的に取得する」と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[OK] をクリックする

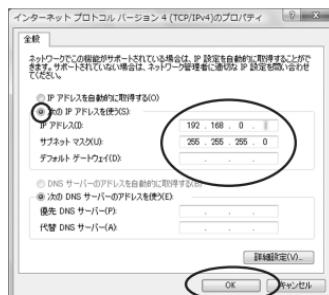


◀ <PLC内蔵ルータ(親機)のルータ機能を設定する> (☞P44) へ進みます。

<PLC内蔵ルータ(親機)のPLC機能、PLCアダプタ(子機)の設定画面を見る場合>

「パソコンのIPアドレス設定画面を表示する」(☞P43) を参照して、「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスを「192.168.0.* *」に、[サブネットマスク] を「255.255.255.0」に設定し、[OK] をクリックする

- * *には1、249以外の任意の数字を入れてください。



◀ <PLC内蔵ルータ(親機)のPLC機能を設定する> (☞P53)、もしくは<PLCアダプタ(子機)を設定する> (☞P59) へ進みます。



お知らせ

- 画面はWindows Vista™の画面です。
- デフォルトゲートウェイ、DNSサーバのアドレス設定を変更する必要はありません。

お願い

- 設定画面での操作終了後は、IPアドレスの設定をもとに戻してください。
IPアドレスを設定して使用している場合には、アドレスを変更する前にもとのアドレスをメモしてください。

■パソコンのIPアドレス設定画面を表示する

パソコンのIPアドレス設定画面は、パソコンのOSにより表示のしかたが異なります。

OS	手順
Windows Vista™	[スタート] (Windows® のロゴボタン) → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] → [ネットワーク接続の管理] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] を選択 → [プロパティ] → IPアドレス設定画面
Windows® XP	[スタート] (→ [設定]) → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → IPアドレス設定画面
Windows® 2000 Professional	[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → IPアドレス設定画面
Mac OS X	[アップルメニュー] → [ネットワーク環境] → [ネットワーク環境設定] → [表示] → [内蔵Ethernet] を選択 → [IPv4を設定] で [手入力] を選択 → IPアドレス設定画面

- OSがWindows Vista™、Windows® XP、Windows® 2000 Professionalの場合、IPアドレスの設定はAdministratorの権限を持つユーザーで行ってください。Administratorの権限をもたないユーザーでログインしている場合は、IPアドレスの設定画面を開けません。Administratorの権限、ユーザーの権限についてはパソコンの説明書などを参照してください。

■対応WWWブラウザについて

- Windows Vista™の場合
Internet Explorer 7.0に対応
- Windows® XPの場合
Internet Explorer 7.0に対応
Internet Explorer 6.0 SP2に対応
(Windows® XP SP2の場合)
Netscape® 7.1に対応
Firefox® 1.5に対応
Opera 9.2に対応
- Windows® 2000 Professionalの場合
Internet Explorer 6.0 SP1に対応
Netscape® 7.1に対応
Firefox® 1.5に対応
Opera 9.2に対応
- Mac OS X v10.3/v10.4の場合
Safari 2.0に対応 (v10.4 Tigerの場合)
Safari 1.3に対応(v10.3 Pantherの場合)
Netscape® 7.1に対応
Firefox® 1.5に対応
Opera 9.2に対応

PLC内蔵ルータ（親機）を設定する

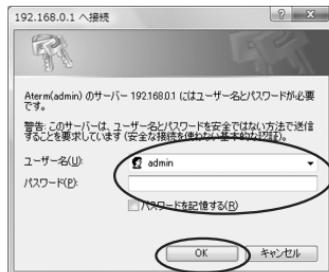
＜PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能を設定する＞

- 1 パソコンを起動する
 - 2 WWWブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クイック設定Webのページを開く
PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は192.168.0.1です。)
本商品をご購入後、はじめてクイック設定Webを開くと「らくらくWebウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。
 - 3 詳細は本商品に添付の「つなぎかたガイド」を参照してください。

次の画面が表示されたらユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

※ユーザー名、管理者パスワードはすべて半角小文字で入力してください。





- 4 クイック設定Webのページが開く



ポップアップヘルプについて

クリック設定Webを開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。



■インターネット悪質サイトブロック機能を設定する

悪質サイトブロック機能は、ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ルータ機能を利用している場合に有効です。ルータ機能を介さない以下のようないくつかの端末では無効になりますのでご注意ください。

- ・PPPoEブリッジ機能、IPv6ブリッジ機能による通信を行っている端末

Web設定で、[悪質サイトブロック] - [ライセンス管理] - [お手続き画面へ]をクリックすると、ネットスター社のライセンス申込TOPページが表示されます。必ず、このページからライセンス申込を行ってください。本商品のお客様向けに60日間のお試し期間が設けられています。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ネットスター株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

インターネット悪質サイトブロック機能の設定

●本商品に悪質サイトブロック機能を設定する

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「悪質サイトブロック設定」画面で「使用する」にチェックを入れる



4 [設定] をクリックする

5 [保存] をクリックする

●ライセンスの申し込みをする

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[お手続き画面へ]をクリックする

ネットスター社のライセンス申込ページ画面が表示されます。

画面に従って、設定を行ってください。



●ライセンス情報を確認する

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで10分程度かかる場合があります。

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[ライセンス情報確認]をクリックしてライセンス情報を確認する

※ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック機能が有効になります。

※48時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロックの機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

●IPアドレスを登録する

本サービスを利用するには、利用する端末のIPアドレスと、その端末からのアクセスに適用するブロックレベルを、あらかじめ設定しておく必要があります。(設定していない端末からの悪質サイトへのアクセスをブロックすることはできません。)

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ブロック対象管理」画面で[追加]をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法

「ブロック対象管理」画面でエントリー一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の [削除] をクリックすることで削除できます。

4 プロファイル名、IPアドレス、ブロックレベルを設定する



プロファイル名 : 任意の文字(半角32文字以内 ("?" を除く)、全角16文字以内)を入力します。

IPアドレス : 端末のIPアドレスを入力します。

ブロックレベル : 小学生以下/中学生/高校生/大人から選択します。

[設定]をクリックする

5

6

7

本機能の対象になる機器が複数ある場合は、手順3~5を繰り返して設定する

※登録できる機器は最大10台までです。

[保存]をクリックする



お知らせ

- 指定したIPアドレスが、DHCPによって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、「詳細設定」 - 「DHCP固定割当設定」により、インターネット接続端末に固有のIPアドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、機能詳細ガイドをご覧ください。

例外サイトの登録方法

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトのURLを例外サイトとして登録することが可能です。

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「例外サイト設定」画面で、[追加]をクリックする

※設定した例外サイトの削除の方法

「例外サイト設定」画面で、エントリー一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の [削除] をクリックすることで削除できます。

4 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別 : [許可] または [禁止] を選択します。

例外サイト : URLを入力してください。

(ホスト名 : 半角最大128文字
("?"を除く)、バス : 半角最大256文字 ("/", "*", "?"を含む、 "?"を除く)まで入力できます)

※URLの最後に "*" を指定して、ワイルドカード指定が可能です。

(例) http://121ware.com/aterm/
ホスト名 バス (/含む)

※ワイルドカード

ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さの任意の文字を意味します。

5 [設定]をクリックする

本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順3~5を繰り返して設定する

7 [保存]をクリックする



ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



[アクセス制限一時解除]をクリックして、クリック設定Web用の管理者IDとパスワードを入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※一時解除される時間は30分です。

※画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター社 お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロックサービス」についての詳細は、下記URLをご覧ください。

<http://gbb.netstar.jp/aterm/>

※E-mail のみの受付となりますので、ご了承ください。
(土日祝祭日を除く10：00～17：00)

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定前のお問い合わせについて

- ・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
- ・本サービスの申し込み方法について
- ・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- ・本サービスの提供元ネットスター株式会社について

連絡先：sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定後のお問い合わせについて

連絡先：shop_bb@netstar-inc.com

※装置に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、巻末に記載のAterm（エーターム）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

規制ポリシー

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
不法	違法と思われる行為	×	×	×	×
	違法と思われる薬物	×	×	×	×
	不適切な薬物利用	×	×	×	×
主張	軍事・テロ・過激派	×	×	×	×
	武器・兵器	×	×	×	×
	誹謗・中傷	×	×	×	×
	自殺・家出	×	×	×	×
	主張一般	×	×	×	×
アダルト	性行為	×	×	×	×
	ヌード画像	×	×	×	×
	性風俗	×	×	×	×
	アダルト検索・リンク集	×	×	×	×
セキュリティ	ハッキング	×	×	×	×
	不正コード配布	×	×	×	×
	公開プロキシ	×	×	×	×
出会い	出会い系・異性紹介	×	×	×	×
	結婚紹介	×	×	×	○
金融	金融レート・投資アドバイス	○	○	○	○
	投資商品の購入	×	×	×	○
	保険商品の申込	×	×	○	○
	金融商品・サービス	○	○	○	○
ギャンブル	ギャンブル一般	×	×	×	○
	宝くじ・スポーツくじ	×	×	×	○
ゲーム	対戦型ゲーム	×	×	○	○
	ゲーム一般	×	×	○	○
ショッピング	オークション	×	×	×	○
	通信販売一般	×	×	×	○
	不動産販売・賃貸	○	○	○	○
	IT関連ショッピング	×	×	×	○
コミュニケーション	ウェブチャット	×	○	○	○
	メッセンジャー	○	○	○	○
	ウェブメール	○	○	○	○
	メールマガジン・ML	×	○	○	○
	掲示板	×	×	×	○
	IT掲示板	×	○	○	○

パソコンを使って設定画面を見る

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
ダウンロード	ダウンロード	×	○	○	○
	プログラムダウンロード	×	○	○	○
	ストレージサービス	×	○	○	○
職探し	転職・就職	○	○	○	○
	キャリアアップ	○	○	○	○
	サイドビジネス	○	○	○	○
グロテスク	グロテスク	×	×	×	×
話題	イベント	○	○	○	○
	話題	○	○	○	○
成人嗜好	娯楽誌	×	×	×	○
	喫煙	×	×	×	○
	飲酒	×	×	×	○
	アルコール製品	×	×	×	○
	水着・下着・フェチ画像	×	×	×	○
	文章による性的表現	×	×	×	○
	コスプレ	×	×	×	○
オカルト	オカルト	×	×	×	×
ライフスタイル	同性愛	×	×	×	○
スポーツ	プロスポーツ	○	○	○	○
	スポーツ一般	○	○	○	○
	レジャー	○	○	○	○
旅行	観光情報・旅行商品	○	○	○	○
	公的機関による 観光情報	○	○	○	○
	公共交通	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○
	音楽	○	○	○	○
趣味	占い	○	○	○	○
	タレント・芸能人	○	○	○	○
	食事・グルメ	○	○	○	○
	娯楽一般	○	○	○	○
	伝統的な宗教	×	○	○	○
宗教	宗教一般	×	○	○	○
	政治活動・政党	×	○	○	○
広告	広告・バナー	×	×	○	○
	懸賞	×	×	○	○
	ニュース	ニュース一覧	○	○	○

<PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を設定する>

1 パソコンでWWWブラウザを起動する

- 対応WWWブラウザについては43ページを参照してください。
- パソコンのIPアドレスの設定については42ページを参照してください。

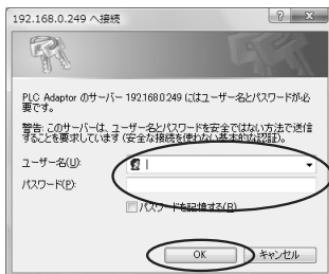
2 アドレス欄に「<http://192.168.0.249/>」を入力する

※IPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

- 認証画面が表示されます。

3 ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックする

- ユーザー名は工場出荷の状態で「config」、
パスワードは工場出荷の状態で「config」
に設定しています。
- 画面はWindows Vista™の画面です。
- 設定画面が表示されます。



- パスワードは変更できます。
変更する場合は、56ページの操作に従って、変更してください。

■設定画面

表示中の設定画面の名称

設定画面の内容を表示します。

本日のステータスを表示します。	
ブートローダーバージョン	X.XX
ファームウェアバージョン	X.XX
動作モード	標準
高機能IPアドレス	192.168.0.249XX
他の機能	なし

クリックするとCopyRight文を表示します。クリックすると、
クリックするとPLC機能が再起動します。最新の情報を表示します。
クリックすると該当の設定画面を表示します。



お知らせ

- 続けて別のPLCアダプタをパソコンに接続して設定画面を表示する場合、前のPLCアダプタの情報（arpテーブル）が残っているために、設定画面が開かないことがあります。その場合は、前のアダプタのarpテーブルを削除してください。arpテーブルの削除方法は、お使いのOSの説明書またはヘルプをお読みください

■ステータス画面について

PLC機能の状態を表示します。



項目	内 容
ブートローダーバージョン	ブートローダーのバージョンを表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	PLC機能が、親機／子機のどちらに設定されているのかを表示します。 ※PLC内蔵ルータ（親機）は、親機固定です。
本機MACアドレス	PLC機能のMACアドレスを表示します。
他の親機	「あり」／「なし」を表示します。 同一住宅内の電力線上に、他のPLC内蔵ルータ（親機）が存在する場合は、「あり」と表示されます。 「あり」の場合は、通信に影響があることがあります。

■オプション画面について

IPアドレスの表示／変更、パスワードの変更、子機の一覧表示／削除ができます。



クリックすると該当の設定画面が下に表示されます。

【IPアドレス】

設定画面の接続IPアドレス、サブネットマスクを表示／変更します。



他のネットワーク機器とIPアドレスが競合する場合や、PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能のネットワークアドレスを、お使いのネットワークアドレスにあわせて使いたいときなど、IPアドレスを変更してください。

変更する場合は：

IPアドレスを入力して【設定】をクリックしてください。

確認画面で【OK】をクリックして、IPアドレスを変更します。

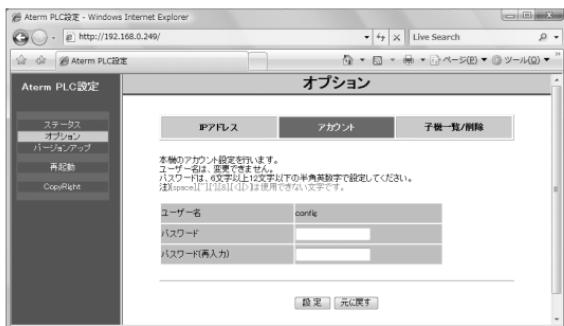
※IPアドレスは、PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレス（初期値：192.168.0.1）と重複しないようにしてください。

IPアドレス変更後は、表示される画面で【再起動】をクリックして、PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能を再起動してください。

再起動後は、変更したIPアドレスで設定画面を開いてください。

【アカウント】

PLC機能の設定画面に接続するときに表示される認証画面のパスワードを変更します。



変更する場合は：

パスワードを入力して「設定」をクリックしてください。

確認画面で「OK」をクリックして、パスワードを変更します。

パスワード変更後は、表示される画面で「再起動」をクリックして、PLC機能を再起動してください。

再起動後、認証画面パスワードは変更したパスワードになります。



お知らせ

- パスワードで使用できる文字は半角英数字（A-Z、a-z、0-9）のみです。大文字小文字は区別されます。
- [space]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使用できません。
- 6文字以上、12文字以下で設定してください。
- ユーザー名は変更できません。
- 本設定画面でパスワードを変更した場合は、工場出荷値の「config」を再設定することはできません。



お願い

- 変更したパスワードは忘れないように、メモしてください。

パスワード：

パスワードを忘れた場合は、設定ボタンを押して、PLC機能を初期化してください。

(☞P31)

パスワードには工場出荷値の「config」に戻ります。

ただし、登録情報もすべて削除されますので、再度PLCアダプタを登録してください。

パスワードについては、自己の責任で適正に管理してください。

【子機一覧／削除】

登録されているPLCアダプタ（子機）の一覧を表示／削除できます。



- 登録済のPLCアダプタ（子機）のMACアドレスが表示されます。MACアドレスは、PLCアダプタ（子機）の側面に記載されています。

登録を削除する場合は：

削除するPLCアダプタ（子機）のチェックボックスにチェックを入れ [削除] をクリックしてください。

確認画面で [OK] を選択すると、選択したPLCアダプタ（子機）の登録は削除されます。

削除後は、表示される画面で [再起動] をクリックして、PLC機能を再起動してください。



お知らせ

- 登録を削除したPLCアダプタ（子機）を再度使用する場合は、PLC内蔵ルータ（親機）への再登録が必要です。（P27）

■バージョンアップ画面について

PLC機能のバージョンアップ（ファームウェアの更新）をします。

ファームウェアは、AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) からダウンロードできます。

最新のファームウェアのバージョンが現在のバージョンよりも高い場合は、更新をお勧めします。



更新する場合は：

[参照] をクリックして、ダウンロードしたファームウェアを選択し、[開始] をクリックしてください。

確認画面で [OK] をクリックして、バージョンアップを開始します。

バージョンアップ後は、表示される画面で [再起動] をクリックして、アダプタを再起動してください。



お知らせ

●ルータ機能とPLC機能のファームウェアは別々になっています。本設定画面では、ルータ機能のファームウェアは適用できませんのでご注意ください。

お願い

- バージョンアップが完了するまで、PLC内蔵ルータ（親機）の電源プラグは抜かないでください。
- バージョンアップするときには、PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）両方実施してください。

PLCアダプタ（子機）を設定する

1 パソコンでWWWブラウザを起動する

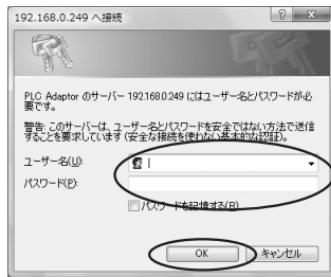
- 対応WWWブラウザについては43ページを参照してください。
- パソコンのIPアドレスの設定については42ページを参照してください。

2 アドレス欄に「http://192.168.0.249/」を入力する

- ※IPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。
- 認証画面が表示されます。

3 ユーザー名、パスワードを入力して [OK] をクリックする

- ユーザー名は工場出荷の状態で「config」、
パスワードは工場出荷の状態で「config」
に設定しています。
- 画面はWindows Vista™の画面です。
- 設定画面が表示されます。



- パスワードは変更できます。
変更する場合は、62ページの操作に従って、変更してください。

■設定画面

表示中の設定画面の名称

設定画面の内容を表示します。

本機のステータスを表示します。	
プロトコルアーバージョン	X/X
ファームウェアバージョン	X/X
動作モード	子機
各端子のIPアドレス	X00000000000X
MACアドレス	00-0C-XX-XX-XX-XX
PLCアダプタ	子機
親機MACのアドレス	XXXXXXXXXXXXXX

クリックするとCopyRight文を表示します。クリックすると、

クリックするとPLCアダプタが再起動します。最新の情報を表示します。

クリックすると該当の設定画面を表示します。



お知らせ

- 続けて別のPLCアダプタ（子機）をパソコンに接続して設定画面を表示する場合、前のPLCアダプタ（子機）の情報（arpテーブル）が残っているために、設定画面が開かないことがあります。その場合は、前のPLCアダプタ（子機）のarpテーブルを削除してください。arpテーブルの削除方法は、お使いのOSの説明書またはヘルプをお読みください。

■ステータス画面について

PLCアダプタ（子機）の状態を表示します。

画面はPLCアダプタ（子機）のステータス画面です。



項目	内容
ブートローダーバージョン	ブートローダーのバージョンを表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	PLCアダプタが、親機／子機のどちらに設定されているのかを表示します。
本機MACアドレス	PLCアダプタのMACアドレスを表示します。
他の親機	「あり」／「なし」を表示します。 同一住宅内の電力線上に、他のPLC内蔵ルータ（親機）が存在する場合は、「あり」と表示されます。 「あり」の場合は、通信に影響があることがあります。
PLCリンク状態 (子機のみ表示)	PLC内蔵ルータ（親機）との接続状態を表示します。 PLC内蔵ルータ（親機）に接続している場合は「接続」、接続していない場合は「切断」と表示されます。
親機MACアドレス (子機のみ表示)	PLCアダプタが子機で動作中は、登録先のPLC内蔵ルータ（親機）のMACアドレスを表示します。

■オプション画面について

IPアドレスの表示／変更、パスワードの変更などができます。



お知らせ

●この画面は、PLCアダプタ（子機）の設定画面です。

※工場出荷時、PLCアダプタ（Aterm CA2100P）は子機に設定されています。

【IPアドレス】

設定画面の接続IPアドレス、サブネットマスクを表示／変更します。



他のネットワーク機器とIPアドレスが競合する場合や、PLCアダプタ（子機）のネットワークアドレスを、お使いのネットワークアドレスにあわせて使いたいときなど、IPアドレスを変更してください。

変更する場合は：

IPアドレスを入力して【設定】をクリックしてください。

確認画面で【OK】をクリックして、IPアドレスを変更します。

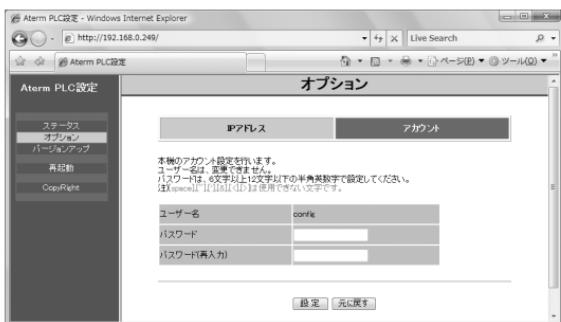
※IPアドレスは、PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレス（初期値：192.168.0.1）と重複しないようにしてください。

IPアドレス変更後は、表示される画面で【再起動】をクリックして、PLCアダプタ（子機）を再起動してください。

再起動後は、変更したIPアドレスで設定画面を開いてください。

【アカウント】

PLCアダプタ（子機）の設定画面に接続するときに表示される認証画面のパスワードを変更します。



変更する場合は：

パスワードを入力して【設定】をクリックしてください。

確認画面で【OK】をクリックして、パスワードを変更します。

IPアドレス変更後は、表示される画面で【再起動】をクリックして、PLCアダプタ（子機）を再起動してください。

再起動後、認証画面パスワードは変更したパスワードになります。



お知らせ

- パスワードで使用できる文字は半角英数字（A-Z、a-z、0-9）のみです。大文字小文字は区別されます。
- 【space】、【"】、【'】、【&】、【<】、【>】は使用できません。
- 6文字以上、12文字以下で設定してください。
- ユーザー名は変更できません。
- 本設定画面でパスワードを変更した場合は、工場出荷値の「config」を再設定することはできません。



お願い

- 変更したパスワードは忘れないように、メモしてください。

パスワード：

パスワードを忘れた場合は、設定ボタンを押して、PLCアダプタ（子機）を初期化してください。（☞P32）

パスワードは工場出荷値の「config」に戻ります。

ただし、登録情報もすべて削除されますので、再度PLCアダプタを登録してください。

パスワードについては、自己の責任で適正に管理してください。

■バージョンアップ画面について

PLCアダプタのバージョンアップ（ファームウェアの更新）をします。

ファームウェアは、AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) からダウンロードできます。

最新のファームウェアのバージョンが現在のバージョンよりも高い場合は、更新をお勧めします。



更新する場合は：

[参照] をクリックして、ダウンロードしたファームウェアを選択し、[開始] をクリックしてください。

確認画面で [OK] をクリックして、バージョンアップを開始します。

バージョンアップ後は、表示される画面で [再起動] をクリックして、アダプタを再起動してください。



- バージョンアップが完了するまで、PLCアダプタの電源プラグは抜かないでください。
- バージョンアップするときには、PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）両方実施してください。

PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能のファームウェアをバージョンアップする

PLC内蔵ルータ（親機）のファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、PLC内蔵ルータ（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、PLC内蔵ルータ（親機）の操作を改善します。

【用語】 ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアをバージョンアップする

AtermStationからダウンロードした最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

● お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約1分間）は絶対にPLC内蔵ルータ（親機）の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ ファームウェアをバージョンアップする

● ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStationに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定Webのトップ画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※本機能は、常に本商品の電源がONになっており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。

本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。

詳しくは、AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。

○ お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示に従って、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページのURLがホスト名の場合のみです。）

表示される例　：<http://www.biglobe.ne.jp/>

表示されない例　：http://www.biglobe.ne.jp/xxx_xxx

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定Webからファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

本商品からインターネットに接続できる必要があります。

1 WWWブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クリック設定Webのページを開く

PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は192.168.0.1です。)

例：<http://192.168.0.1>

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

3 「メンテナンス」の【ファームウェア更新】を選択する

4 [自動更新（オンラインバージョンアップ）]を選択する



5 [更新]をクリックする

6 次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ



7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。[閉じる]をクリックして、クイック設定Webを閉じます。



8

[OK]をクリックする



9

しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される

※バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10

[OK]をクリックする



■ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする
ホームページAtermStationから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

1 AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスする

2 [ダウンロード] – [バージョンアップ] にて、お使いの機種を選択する

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する



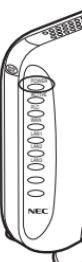
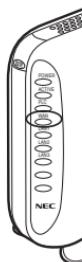
お知らせ

●ルータ機能とPLC機能のファームウェアは別々になっています。PLC機能のファームウェアは適用できませんのでご注意ください。

トラブルシューティング

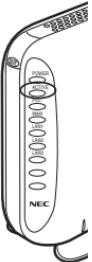
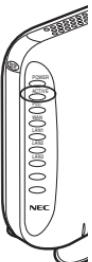
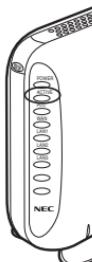
トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
お問い合わせ先は、巻末をご覧ください。

PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能に関するトラブル

症 状	原因と対策
POWERランプが点灯しない 	<p>電源が入っていないません。</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグが外れている →電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。● 電源プラグがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとPLC内蔵ルータ（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。● 電源プラグが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源プラグを電源コンセントから外して巻末の修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。● PLC内蔵ルータ（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。
WANランプが緑点灯しない 	<ul style="list-style-type: none">● ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。● PLC内蔵ルータ（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモ뎀または回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。● ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリ-5）」であることを確認してください。

症 状	原因と対策
WANランプが緑点灯しない (続き)	<p>●PLC内蔵ルータ（親機）のプロードバンド接続ポートとPLC内蔵ルータ（親機）のLAN1を添付のETHERNETケーブルで接続してみる。</p> <p>前面のWANランプが点灯する場合 PLC内蔵ルータ（親機）は、問題ありません。 プロードバンドモデム／回線終端装置が故障している可能性があります。</p> <p>点灯しない場合 PLC内蔵ルータ（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合はPLC内蔵ルータ（親機）の故障の可能性があります。 巻末の修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。</p>
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.xxx」に設定されていない	<p>●パソコンの設定で「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になつてることを確認してください。</p> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されたためには、パソコンよりもPLC内蔵ルータ（親機）の方が前に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する</p> <p>b.次の手順でIPアドレスを取り直す <Windows Vista™およびWindows® XPの場合></p> <p>①[スタート]（Windows® のロゴボタン）（Windows® XPの場合は「スタート」）－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックする</p> <p>②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter]キーを押す</p> <p>③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する <Windows® 2000 Professionalの場合></p> <p>①[スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックする</p> <p>②「ipconfig /renew」と入力して[Enter]キーを押す</p> <p>③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</p>

症 状	原因と対策
<p>WWWブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定Webが表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorerの場合以下の設定を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の順にクリックする ② [LANにプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「web.setup/」を入れる ● 代わりにIPアドレスを入れても表示できます。 PLC内蔵ルータ（親機）のIPアドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。IPアドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されているたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（☞P33）
<p>WWWブラウザでPLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● WWWブラウザでPLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWWブラウザでPLC内蔵ルータ（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
<p>PLC内蔵ルータ（親機）のクイック設定Webが開かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript®が無効に設定されている → WWWブラウザの設定でJavaScript®を有効に設定してください。（☞P35） ● IPアドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してみてください。（☞P42）

症 状	原因と対策
ACTIVEランプが点灯しない 	●パソコンからWWWブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。PPPoEモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点でACTIVEランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVEランプが速い点滅をしている 	●ブロードバンドモ뎀／回線終端装置のWAN側が接続されていることを確認してください。ADSLモ뎀をご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。NEC製のADSLモ뎀をご使用の場合はモデム前面のLINEランプまたはADSLランプが点灯します。LINEランプまたはADSLランプが点滅している場合はADSLモ뎀の取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンからWWWブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。PPPoEモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点でACTIVEランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVEランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	●PLC内蔵ルータ（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 接続ユーザー名@xxxx.ne.jpと入力するのが一般的です。 ●接続する環境によっては、正常接続時に時間がかかる場合があります。（数分程度）

症 状	原因と対策
ACTIVEランプが点灯しない (クイック設定Webの状態表示でWAN側IPアドレスが表示されない)	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモデム／回線終端装置がWAN側に接続されていることを確認してください。 ADSLモデムをご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ● 接続事業者から指定されたIPアドレス情報などが正しく設定されているか確認してください。 らくらくWeb ウィザード クイック設定Webの「基本設定」 - 「接続先設定」(⑩機能詳細ガイド) ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードがPPPoEブリッジモードの場合は本商品の動作モードはPPPoEモードでご使用ください。 ● 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムをPLC内蔵ルータ（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンのMACアドレスとPLC内蔵ルータ（親機）のMACアドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20～30分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● PLC内蔵ルータ（親機）WAN側のIPアドレスが正しく取得できなことがありますので、クイック設定Webの【情報】 - 【現在の状態】で【IP解放】をクリックしてから【IP取得】をクリックしてIPアドレスを更新してください。 ● CATV接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」 - 「接続先設定」画面の【高度な設定を表示】をクリックしてからドメイン名やホスト名を入力してください。 ● CATV接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」 - 「接続先設定」からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ● CATV接続事業者によっては本商品のMACアドレスを申請する必要があります。 PLC内蔵ルータ（親機）のWAN側のMACアドレスを申請してください。 ● クイック設定Webの「基本設定」 - 「接続先設定」画面の【高度な設定を表示】をクリックしてから「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	<p>●WWWブラウザやメールソフトの設定が、LAN接続の設定になっていない。 →LAN接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☞P33)</p>
ルータタイプADSLモデムに接続している	<p>●WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」を確認してください。</p> <p>IPアドレスが表示されていない場合は、[IP取得]を選択し、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。</p> <p>[IP取得]でもIPアドレスが表示されない場合は、ADSLモデムがエラー表示していないか、またはPLC内蔵ルータ（親機）前面のWANランプが緑点灯しているか確認してください。</p> <p>●ルータタイプADSLモデムの接続設定ができるない。</p> <p>ADSLモデムがPLC内蔵ルータ（親機）と同じIPアドレス192.168.0.1になっている可能性があります。</p> <p>→次の手順で、IPアドレスが同じであることを確認したあとで、LAN側のIPアドレスを変更します。</p> <p>①IPアドレスを確認する WAN側：クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」が空欄になっている</p> <p>②IPアドレスを変更する クイック設定Webの「詳細設定」の「LAN側設定」で「IPアドレス」を"192.168.1.1"など左から3つ目を変更して、【設定】をクリックする</p> <p>③[保存]をクリックする</p>

症 状	原因と対策
PPPoE接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーIDとパスワードが間違っている →ADSLインターネット接続のユーザーIDは、「xxxxxxxx@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザーIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。 ● 使用するPLC内蔵ルータ（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプのADSLモデムに接続して使用する場合、PPPoEモードでは接続できません。あらかじめADSLモデムのタイプを確認してください。 ● パソコンに、ADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista™/Windows® XPのPPPoE機能を使用していませんか。 →PPPoEの外付けブロードバンドモデルを使用するとき、ブロードバンドモデルに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデルに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらくWebライザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。 ● フレッツ・ADSL接続後、電源のON/OFFなどで、異常終了した場合、PLC内蔵ルータ（親機）の再起動において、一定時間（最大で5分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> ● IPアドレス、DNSネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定されたIPアドレスやDNSネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

症 状	原因と対策
CATVインターネット接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> ●回線側のIPアドレスが取得できていない。 →クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」を確認してください。正しくIPが取得できていない場合は、いったん【IP解放】をクリックしてから【IP取得】をクリックしてIPアドレスを正しく更新してください。 ●他のプロードバンドルータやパソコンに接続していたCATVケーブルモデムをPLC内蔵ルータ（親機）に接続し直して通信しようとしている。 →CATVケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンのMACアドレスを記憶して、このMACアドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATVケーブルモデムの電源をいったん切って、20分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV接続事業者によっては、本商品のMACアドレスを申請する必要があります。PLC内蔵ルータ（親機）のWAN側のMACアドレスを申請してください。
CATVインターネット接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 →CATV事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」-「接続先設定」画面の【高度な設定を表示】をクリックしてから、または、らくらくWebウィザードでドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNSネームサーバが指定されていない。 →CATV事業者によってはゲートウェイやDNSネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。接続事業者に確認して、クイック設定Webの「基本設定」-「接続先設定」または、らくらくWebウィザード(P44)からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

トラブルシューティング

症 状	原因と対策
CATVインターネット接続時に、WAN側IPアドレスが取得できない しばらくすると回線が切断され、WAN側IPアドレスが、空欄になってしまふ	<ul style="list-style-type: none">● 前面のWANランプが点灯しているか確認してください。● WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 → クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」をご確認ください。 IPアドレスが表示されていない場合は、[IP取得] をクリックし、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP取得] でもIPアドレスが表示されない場合は、CATVケーブルモデムがエラー表示していないか、またはPLC内蔵ルータ（親機）前面のWANランプが点灯しているか確認してください。● クイック設定Webの「接続先設定」画面の [高塗な設定を表示] をクリックしてから、「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。● CATVケーブルモデムがPLC内蔵ルータ（親機）と同じIPアドレス192.168.0.1になっている可能性があります。 → 次の手順で、IPアドレスが同じか確認したあとで、LAN側のIPアドレスを変更します。<ol style="list-style-type: none">① IPアドレスを確認する WAN側： クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」が空欄になっている② IPアドレスを変更する クイック設定Webの「詳細設定」の「LAN側設定」で「IPアドレス」を "192.168.1.1" など左から3つ目を変更して、[設定] をクリックする③ [保存] をクリックする

PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能およびPLCアダプタ（子機）に関するトラブル

症 状	原因と対策
すべてのランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが電源コンセントに接続されていない →電源プラグを電源コンセントに接続してください。
LANランプが橙点灯のまま、緑点灯（または緑点滅）しない ※PLCアダプタ（子機）の場合のみ	<ul style="list-style-type: none"> ETHERNETケーブルが接続されていない →ETHERNETケーブルの接続を確認してください。 ネットワーク機器の電源が入っていない →ネットワーク機器の電源を入れてください。
PLCランプが点灯しない または点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> PLC内蔵ルータ（親機）の電源が入っていない →PLC内蔵ルータ（親機）の電源を入れてください。 PLCアダプタ（子機）の電源が入っていない →PLCアダプタ（子機）の電源を入れてください。 PLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）間の距離が遠いまたは、近くにノイズを発生する機器がある →別の電源コンセントにつなぎ替えてください。 ノイズフィルターまたは、雷サージ対応の電源タップを使用している →PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）は壁の電源コンセントに直接接続してください。電源タップを使用する場合は、ノイズフィルター、雷サージ対応がついていない電源タップを使用してください。 電源コードの長い電源タップを使用している →できるだけ電源コードが短い電源タップを使用してください。
PLCランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）の故障でPLCネットワークに接続できません。 →巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。
PLCランプが5秒間赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）の登録中にエラーが起きました。 →同じ壁の電源コンセントにPLC内蔵ルータ（親機）とPLCアダプタ（子機）を接続し、再度、登録してください。(☞P27)

症 状	原因と対策
通信速度が遅い、または通信が途切れ る	<ul style="list-style-type: none"> ● ノイズフィルターまたは、雷サージ対応の電源タップを使用している <ul style="list-style-type: none"> → PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）は壁の電源コンセントに直接接続してください。電源タップを使用する場合は、ノイズフィルター、雷サージ対応がついていない電源タップを使用してください。 ● 電源コードの長い電源タップを使用している <ul style="list-style-type: none"> → できるだけ電源コードが短い電源タップを使用してください。 ● 他の電気製品による電気ノイズを受けている <ul style="list-style-type: none"> → 電気製品の中には電気ノイズを発生するものがあります。 例えば、 充電器（携帯電話の充電器を含む）、ヘアードライヤー、掃除機、電気ドリル、調光機能付き照明器具やタッチランプ これらの電気製品はできるだけPLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）から離れた電源コンセントで使用してください。 ● 同一住宅に2個以上のPLC内蔵ルータ（親機）がある <ul style="list-style-type: none"> → 同一の電力線上にPLC内蔵ルータ（親機）が2個以上あると、データ通信に影響を与える場合があります。親機はできる限り1台でお使いください。 ● 同一住宅に別の規格の電力線搬送通信設備がある場合双方の装置とともに、通信速度の低下または、通信できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → できるだけ本商品から離れた場所で使用してください。または、どちらかの規格の電力線搬送通信設備の運用を停止してください。
短波ラジオに雑音が入る／調光機能付 き照明器具やタッチランプが動作しな い	<ul style="list-style-type: none"> ● PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）は短波ラジオ、調光機能付き照明器具やタッチランプに影響を与えることがある <ul style="list-style-type: none"> → これらの電気製品は、別の電源コンセントに接続してください。 → これらの電気製品は、できるだけPLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）から離れた場所で使用してください。 → 短波ラジオのアンテナまたはラジオを壁から離してください。それでも雑音が入る場合は、短波ラジオの周波数を別の周波数に切り替えてください。
「HD-PLC」仕様以外のPLCアダプタ (子機) が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● PLC内蔵ルータ（親機）およびPLCアダプタ（子機）は本商品以外のPLCアダプタ（子機）に影響を与えることがある <ul style="list-style-type: none"> → 別の電源コンセントに接続してください。 → できるだけ本商品から離れた場所で使用してください。

ご利用開始後のトラブル（PLC内蔵ルータ（親機）のルータ機能）

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	● ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	● PLC内蔵ルータ（親機）のPLC機能もしくは、PLCアダプタ（子機）に問題がないかを確認してください（☞P78）
通信が切断されることがある	● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。
使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.0.xxxは、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p><IPアドレスの再取得></p> <p><Windows Vista™およびWindows® XPの場合></p> <p>①[スタート] (Windows® のロゴボタン) (Windows® XPの場合は [スタート]) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して、[Enter] キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</p> <p><Windows® 2000 Professionalの場合></p> <p>①[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</p>
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoEモード、ローカルルータモード共通)	● パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりもPLC内蔵ルータ（親機）の方が前に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、前ページを参照して再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 上記の「IPアドレスの再取得」を行う
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoEモードの場合)	● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ADSLモデムの場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。

トラブルシューティング

症 状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない (ローカルルータモードの場合)	<ul style="list-style-type: none">● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。● ブロードバンドモデム／回線終端装置とPLC内蔵ルータ（親機）の電源投入順序によっては無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側IPアドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定Webの【情報】の【現在の状態】で【IP解放】をクリックしてから【IP取得】をクリックしてIPアドレスを更新してください。

製品仕様

■親機（Aterm CR2500P）製品仕様

項目		仕様	備考
WAN インターフェース	物理インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×1ポート	
	インターフェース	ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX/10BASE-T)	AUTO MDI/MDI-X
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	自動判別／固定モード
LAN インターフェース	物理インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×3ポート	
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T	AUTO MDI/MDI-X
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	自動判別
PLC インターフェース	PLC方式	「HD-PLC」方式	
	PLC変調方式	Wavelet OFDM	
	周波数帯域	4~28MHz	
	伝送速度 ^{*1}	最大190Mbps (PHY速度)	
	アクセス方式	CSMA/CA	
	エラー訂正方式	符号化：畳み込み符号とリードソロモンの連続符号 復号化：ビタビ復号およびリードソロモン復号	
	Multicast対応	IGMP Snooping対応	
	セキュリティ	AES 128bit暗号化	
	伝送距離 ^{*2}	最大150m (屋内)	
	ネットワークに接続できるPLCルータ／アダプタの台数 ^{*3}	16台 (親機1台に対し、子機15台) 以下推奨	
ヒューマン インターフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時 緑点灯
		ACTIVE	ネット通信確立時 緑点灯
		PLC	PLCネットワーク接続時 緑点灯
		WAN	WAN Ethernetリンク確立時 緑点灯 データ送受信点滅
		LAN1	LAN1 Ethernetリンク確立時 緑点灯 データ送受信点滅
		LAN2	LAN2 Ethernetリンク確立時 緑点灯 データ送受信点滅
		LAN3	LAN3 Ethernetリンク確立時 緑点灯 データ送受信点滅
	スイッチ	設定	らくらくプラグスタートボタン×1 PLC接続設定/PLC機能初期化用
		RESET	ルータ部リセットボタン×1

製品仕様

項目	仕様	備考
動作環境	温度0～40℃ 湿度10～90%	結露なきこと
外形寸法	約39 (W)×150 (D)×156 (H) mm	突起部分を除く
電源	AC100V±10% 50/60Hz	内蔵型ACDC電源
消費電力	7W (最大)	
質量	約0.45Kg (本体のみ)	

※1 「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用の環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※2 ご利用環境により変化します。

※3 設置する台数が多いほど、性能に影響を与えます。

■子機（Aterm CA2100P） 製品仕様

項目		仕様	備考	
LAN インターフェース	物理インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45)×1ポート		
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T	AUTO MDI/MDI-X	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps		
	全二重/半二重	全二重/半二重	自動判別	
PLC インターフェース	PLC規格	「HD-PLC」方式		
	周波数帯域	4~28MHz		
	変調方式	Wavelet OFDM		
	伝送速度 ^{*1}	最大190Mbps (PHY速度)		
	アクセス方式	CSMA/CA		
	エラー訂正方式	符号化：置み込み符号とリードソロモンの連接符号 復号化：ビタビ復号およびリードソロモン復号		
	Multicast対応	IGMP Snooping対応		
	セキュリティ	AES 128bit暗号化		
	伝送距離 ^{*2}	最大150m (屋内)		
	ネットワークに接続できるPLCアダプタの台数 ^{*3}	16台 (親機1台に対し、子機15台) 以下推奨		
ヒューマン インターフェース	状態表示ランプ	PLCネットワーク接続時緑点灯		
		PLC通信速度測定時PLC通信速度状態表示		
		Ethernetリンク確立時緑点灯 データ送受信点滅		
	親機	PLC通信速度測定時PLC通信速度状態表示		
	スイッチ	親機設定時緑点灯		
		PLC通信速度測定時PLC通信速度状態表示		
動作環境		温度0~40°C 濡度10~90%	結露しないこと	
外形寸法		約62 (W) ×36 (D) ×92 (H) mm	突起部分を除く	
電源		AC100V±10% 50/60Hz	内蔵型ACDC電源	
消費電力		最大4W (最大)		
質量 (本体のみ)		約200g		

※1 「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※2 ご利用環境により変化します。

※3 設置する台数が多いほど、性能に影響を与えます。

索引

[数字]

- 100BASE-TX / 10BASE-T対応スイッチングHUB (4 ポート) ④

[A~Z]

- ACTIVEランプ 19
arpテーブル 53
DHCPクライアント機能 ④
DHCP固定割当設定 ④
DHCPサーバ機能 ④
DHCP除外設定 ④
DMZホスティング機能 ④
DNS
 プライマリ～/セカンダリ～ ④
 ～フォワーディング ④
ETHERNETケーブル 25
ETHERNETポート 20, 21
「HD-PLC」規格 2, 3
IPv6ブリッジ機能 ④
IP アドレス 43, 55, 61
IP パケットフィルタリング ④
JavaScript® 35
LAN1ランプ 20
LAN2ランプ 20
LAN3ランプ 20
MACアドレス 57
PLC-J 3
PLCアダプタ（子機） 2
PLCアダプタ（子機）を初期化する 32
PLCアダプタ（子機）を設置する 22
PLC内蔵ルータ（親機） 2
PLC内蔵ルータ（親機）を初期化する 29
PLC内蔵ルータ（親機）を設置する 22
PLCランプ 19, 21
PLCリンク状態（子機のみ表示） 60
Power Line Communication 2, 3, 15
POWERランプ 19
PPPoE マルチセッション 17, ④
PPPoEモード ④
PPP キープアライブ ④
RESETボタン 20

- UDPプロトコル 24
VPNパススルー機能 ④
WAN側機能 ④
WANランプ 20
WWWブラウザの設定 33

[ア行]

- アカウント 56, 62
アドバンスドNAT
 (IP マスクレード/NAPT) ④
アドバンスドNAT
 (ポートマッピング) ④
安全にお使いいただくために
 必ずお読みください 4
インターネット悪質サイトブロック機能 46
インターネット接続先の登録 ④
インターフェース 81, 83
屋内電気配線 15
オプション画面について 55, 61
親機MACアドレス（子機のみ表示） 60
親機/子機モード切替スイッチ 21
親機/子機ランプ 21

[力行]

- 外部にサーバを公開する ④
各部の名称とはたらき 19
雷サージ 10
管理者パスワード 44
 ～の変更 ④
規制ポリシー 51
機能
 ～一覧 14
 ～詳細ガイド 2
「機能詳細ガイド」目次 14
クリック設定Web 44
 ～で初期化する 29
ゲートウェイ ④
ゲーム機を接続する 16
高速電力線通信 2, 3
購入時の状態に戻す（初期化） 29
子機一覧／削除 57
ご利用開始後のトラブル 79

[サ行]

時刻設定	⑩
情報表示（装置情報、状態表示）	⑩
初期化	29
スタンド	～を取り付ける	22
ステータス画面について	54、60
静的ルーティング	⑩
製品仕様	81
セキュリティ	12、16
接続する	PLC内蔵ルータ（親機）を～	22、25、41
接続する電源コンセントについての	注意事項	26
設置する	22
設定	クイック設定Web～	44
設定画面	53、59
設定画面について	41
設定画面を表示する	43、53
設定値の初期化	29
前面のボタン	設定ボタン	20
増設用PLCアダプタ	15
側面のボタン・スイッチ	親機／子機モード切替スイッチ	21
	設定ボタン	21

[タ行]

ダイナミックポート	
コントロール機能	⑩
通信速度を確認する	24
つなぎかたガイド	2
電源コンセント	26
動作モード	54、60
ドメイン名	⑩
トラブルシューティング	68

[ナ行]

ネットマスク	42
ネットワーク	パソコンの～の確認	⑩
ネットワーク機器を接続する	25
ネットワークゲーム	16
ネットワーク対応アプリケーション	⑩
ノイズフィルター	9

[ハ行]

バージョンアップ	58、63
バージョンアップ画面	58、63
背面のボタン	RESETボタン	20
パスワード	44
パソコンインターフェース	⑩
パソコンを使って設定画面を見る	41
ファームウェアの更新	58、63
ファームウェアバージョン	54、60
ファイアウォール	70
ファイルとプリンタの共有	⑩
ブートローダーバージョン	54、60
不正アクセス検出機能	⑩
ブロードバンド接続事業者	15
ブロードバンド接続ポート	20
ブロードバンドモデム	15
ブロック画面の一時解除方法	50
プロバイダ	17、33
他の親機	54、60
ポップアップヘルプ	45
本機MACアドレス	54、60
本商品でできること	15

[マ行]

目 次	13
-----	-------	----

[ラ行]

らくらくWebウィザード	44
ランプ表示	ACTIVEランプ	19
	LANランプ	21
	LANランプ1	20

索引

LANランプ2	20
LANランプ3	20
親機／子機ランプ	21
PLCランプ	19、21
POWERランプ	19
WANランプ	20
ルータ機能	④
例外サイト	49
ローカルルータモード	④

MEMO

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、PLCの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

○ お願い

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

修理メモ（修理箇所、年月日、修理者名等）

※ 修理メモは、修理伝票等で代替する場合があります。

■ ■

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm CR2500P 取扱説明書 第1版

AM1-000593-001
2007年6月



PRINTED WITH
SOY INK 大豆インキを
使用しています

